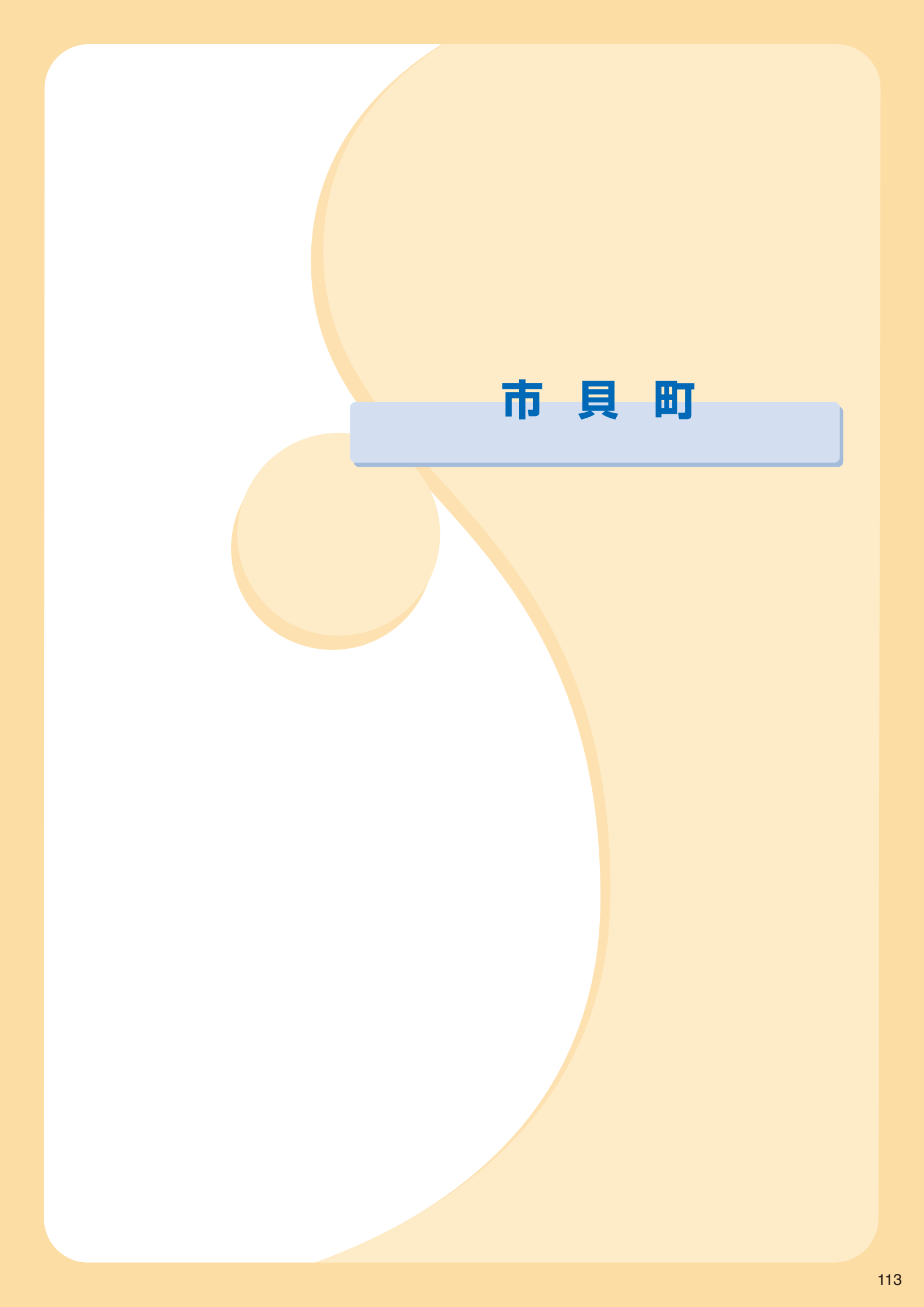


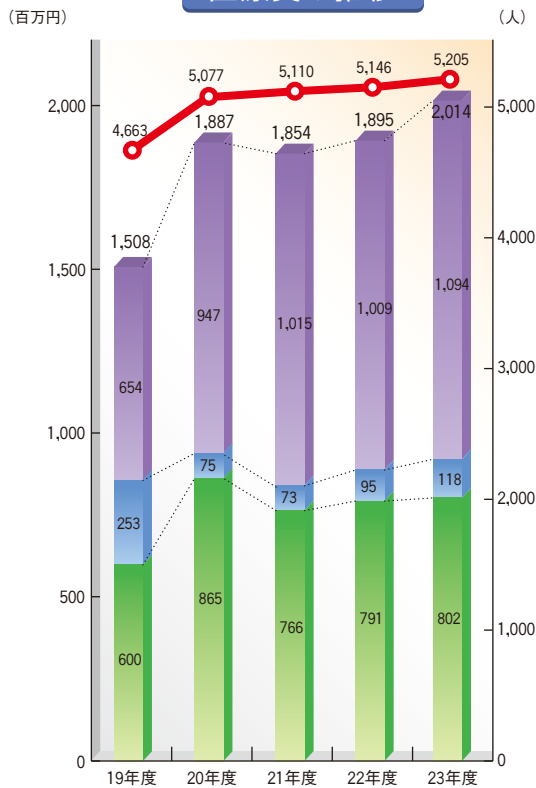


市 貝 町

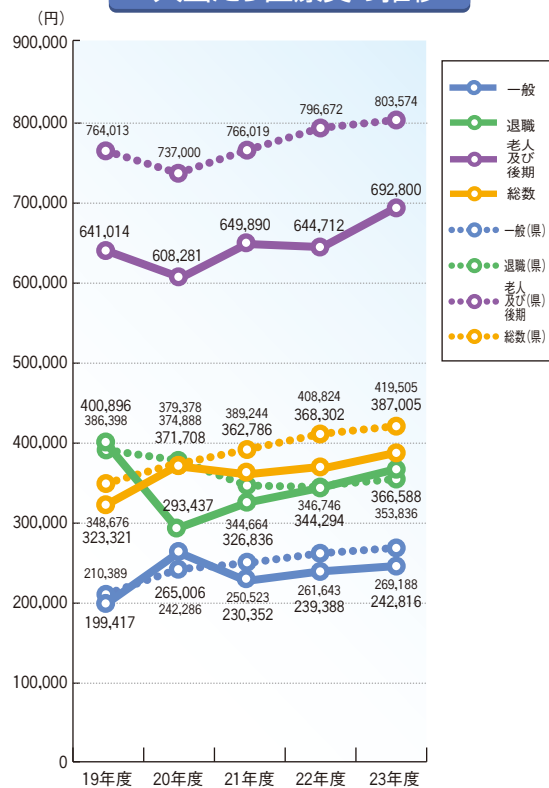
市貝町



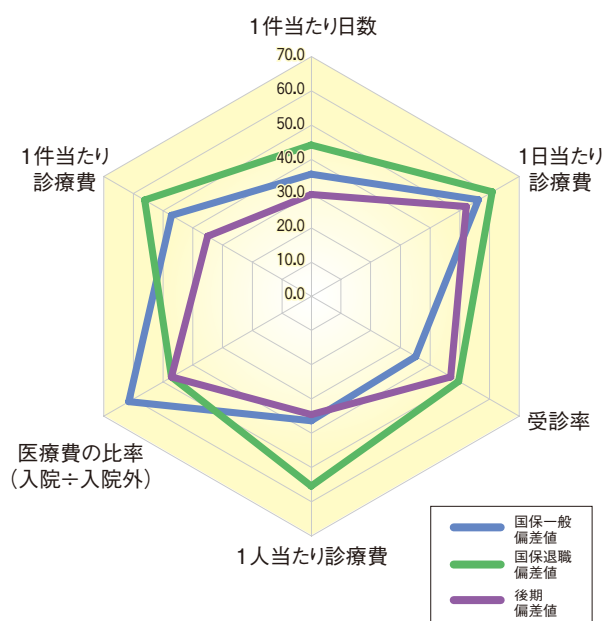
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

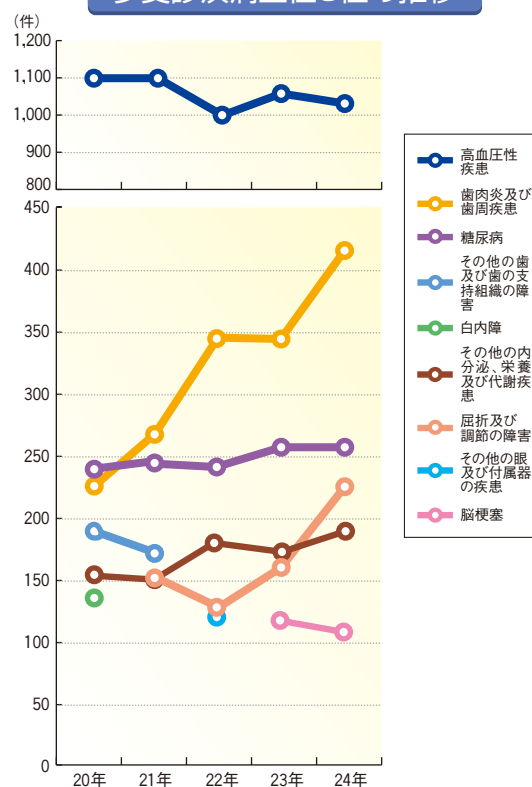


平成23年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

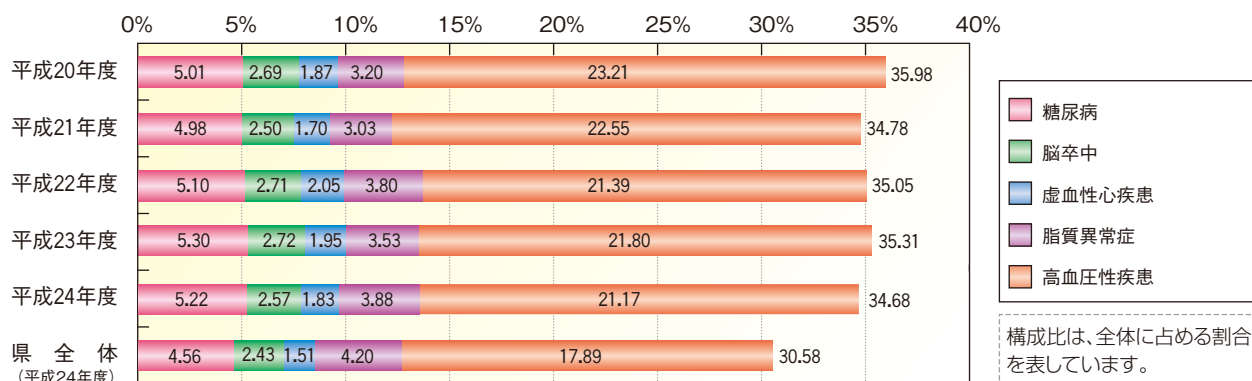


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

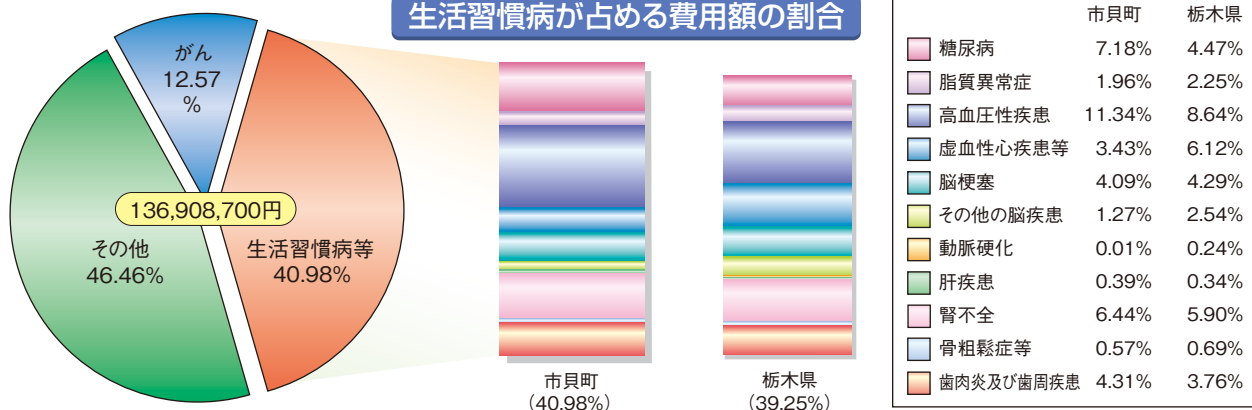
多受診疾病上位6位の推移



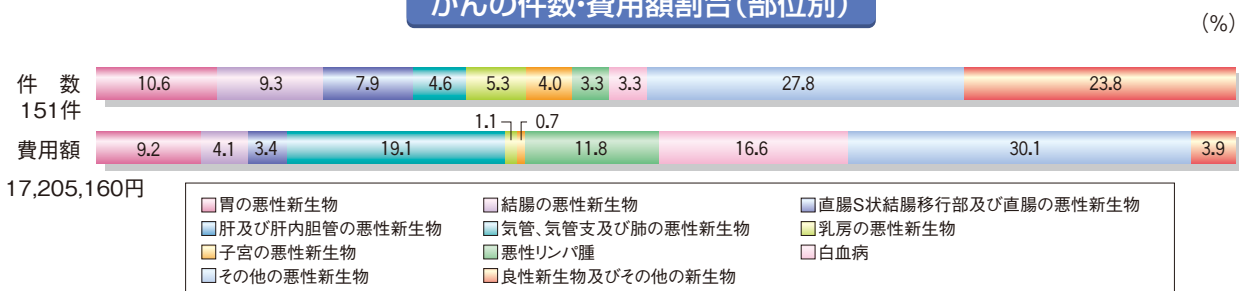
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



市貝町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般802,023千円(101.4%)、退職118,408千円(124.2%)、後期1,093,931千円(108.4%)で、全体では2,014,362千円(106.3%)と増加している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は5,205人で、内訳は一般3,303人、退職323人、後期1,579人である。前年度と比較すると全体で101.1%と増加している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は387,005円(18,703円増)、一般は242,816円(3,428円増)、退職は366,588円(22,294円増)、後期は692,800円(48,088円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たり診療費がいずれの法別も平均を上回っているが、受診率は平均を下回っている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位脳梗塞で、中でも4位の屈折及び調節の障害は、平成20年と比べると件数は1.7倍、費用額は1.3倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高い。

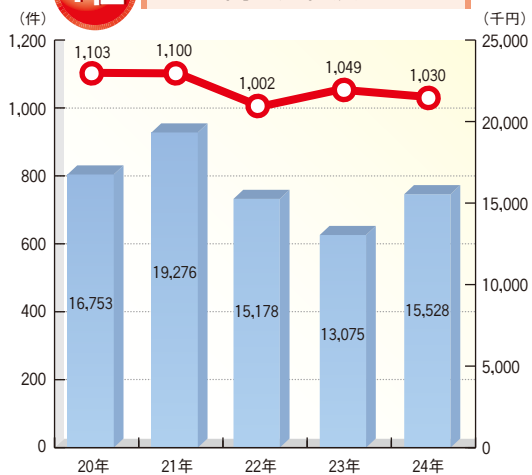
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が136,908,700円で、がんが12.57%、生活習慣病関連が40.98%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患11.34%、糖尿病7.18%、腎不全6.44%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額では気管、気管支及び肺の悪性新生物、白血病の割合が高くなっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

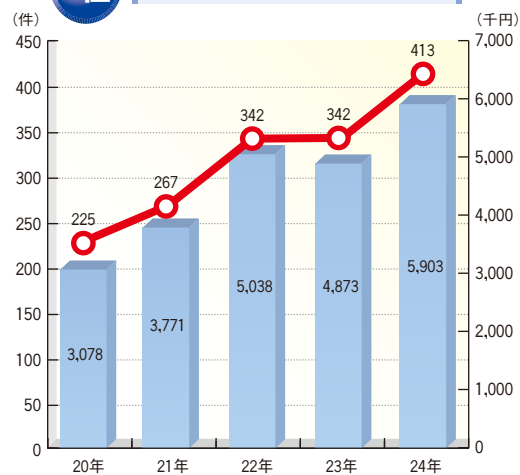
1位

高血圧性疾患



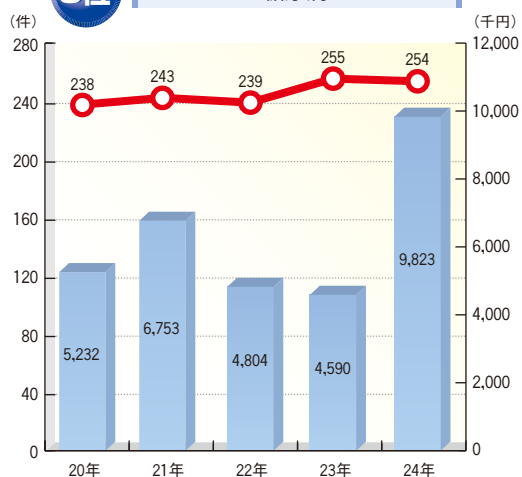
2位

歯肉炎及び歯周疾患



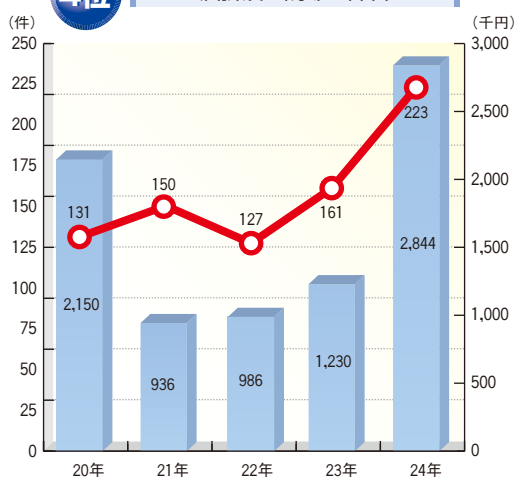
3位

糖尿病



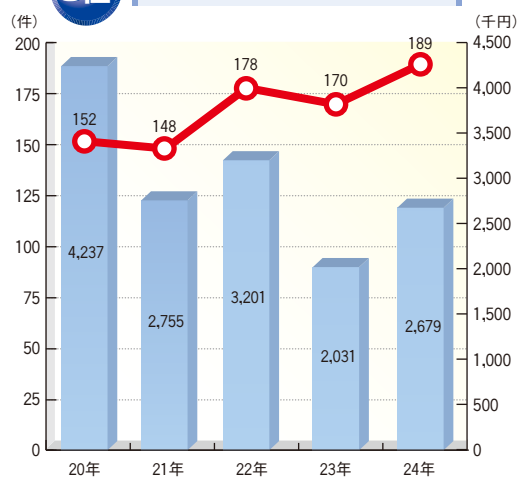
4位

屈折及び調節の障害



5位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位

脳梗塞

